

広報

No. 130



昭和59年4月15日

発行・編集 国見町企画課

おもな内容

昭和59年度予算決まる	2～4
町選挙管理委員会に 表彰状	5
人事異動	6
「緑」をたいせつに	7
おしらせ	8～9
公民館だより	10～11



'84  
4月

# ボランティア

—公民館に花を生け続ける—

市川公子さん

# 1,500万円

## 予算決まる

昭和五十九年度の町予算が、去る三月十六日、町議会で議決されました。  
一般会計の予算総額は十九億一千五百万円で、前年度当初予算と比べると、一億九千九百万円の増、率にして十一・六%の増となり、財政難の中でも、将来を展望した積極的予算といえます。

この中で、当年度の重点事業としては町制施行三十周年記念事業としてのテニスコートの建設と、浄化センター関連周辺対策事業、道路台帳整備などが挙げられます。

### 歳入

歳入の四九%を占める地方交付税は、地方財政計画の中で前年に引き続き三・九%の減の予算であり、前年度当初予算に比べて〇・二%のわずかな伸びです。

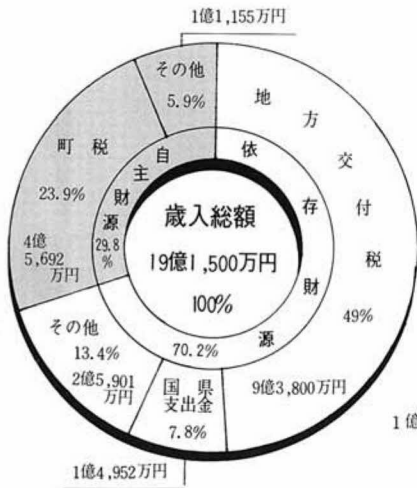
県支出金は、五四・二%の伸びで、これは浄化センター関連周辺対策事業に係るものとなっています。

町税収入は、歳入総額の二三・九%を占め、前年当初予算に比べて一・三%の増となりました。これは、給与所得の伸びによる町民税(個人分)の増と固定資産税の増が主なものです。また、今年度は町制施行三十

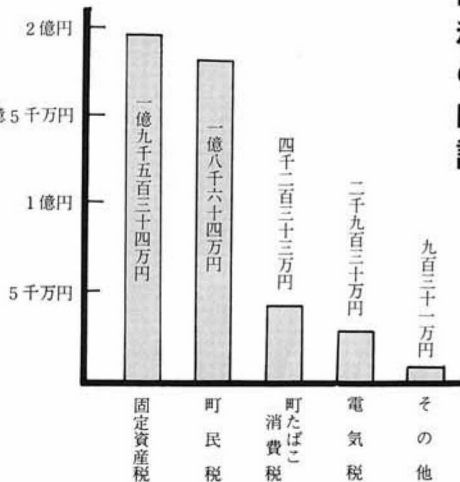
周年にあたり、関連記念事業として運動施設の整備を図るため、「町づくり特別対策事業債」を活用し、二千八百万円を借り受け、テニスコート建設を計画しました。

### 自主財源は二九・八%

歳入予算を自主財源(町が収入額を見積り徴収する自主的財源)と国県等依存財源(国県などから交付されたり、割り当てられる収入)とに分けると、自主財源は構成比で前年度より二・一%低い二九・八%となっています。これは、諸収入が前年度より八百六十万円減少したためです。



### 町税の内訳



### 税の負担

固定資産税

個人町民税

一世帯当り

68,086円

1人当り

14,899円



目的別にみて、構成費の高いものは総務費、教育費、土木費、衛生費、農林水産業費の順となっています。

前年度と比較して、伸び率の高いものは、商工費が三一・七%増、これは商工会館建設補助金で、次いで農林水産業費が、浄化センター関連周辺対策事業費の増で二・二%の伸びとなっています。総務費は、三十周年記念事業の建設費で一八・一%増となり、また、土木費では道路台帳整備費の増で一六・三%の伸びとなっています。費目ごとの主なものを挙げました。

# 昭和59年度

## 一般会計

# 19億

### 歳出

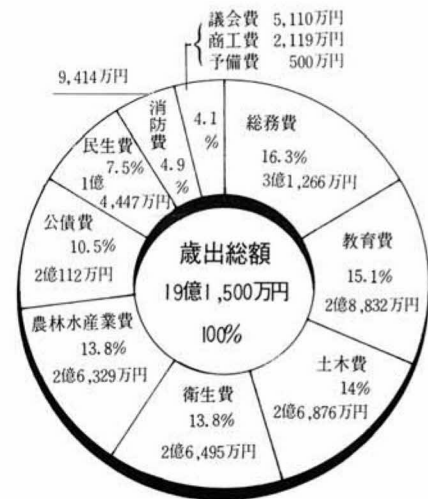
### 総務費

- ▶交通安全対策費 540万円
- ▶事務事業改善費 240万円
- ▶防犯対策費 202万円
- ▶広報く に み発行費 158万円
- ▶運動公園施設整備費 50万円



### 教育費

- ▶テニスコート建設費 4,141万円
- ▶町民運動場整備費 1,277万円
- ▶県北中学校プールサイド補修工事 410万円
- ▶阿津賀志山防曇保存土地買上 342万円
- ▶公民館冷房設備工事 240万円



### 消防費



- ▶消防ポンプ自動車 880万円
- ▶防災行政無線の運用 205万円
- ▶消防水利の整備 100万円

民生費



- ▶ 藤田保育所運営費 4,624万円
- ▶ 季節保育所開設事業(4か所) 1,066万円
- ▶ 重度心身障害者医療費扶助 880万円
- ▶ 長寿を祝う事業、敬老会、敬老祝金 308万円
- ▶ 乳児医療費扶助 305万円
- ▶ 母子家庭医療費扶助 80万円

公債費



- ▶ 町債元利償還金 2億 112万円

衛生費



- ▶ 公立藤田総合病院負担金 1億 4,107万円
- ▶ 老人保健対策費 2,786万円
- ▶ 健康診査事業 873万円
- ▶ 各種予防接種 276万円

その他の特別会計

会計名	本年度額	前年度額	比較
渇水対策施設	4億 2,024万円	0	4億 2,024万円
国民健康保険	5億 5,600万円	5億 3,500万円	2,100万円
貝田簡易水道	1,068万円	567万円	501万円
育 英	631万円	558万円	73万円
入山財産区	732万円	932万円	△ 200万円
藤田財産区	521万円	71万円	450万円
大木戸財産区	55万円	50万円	5万円
町老人保健	44万円	43万円	1万円

土木費



- ▶ 町道整備費 1億 3,117万円
- ▶ 道路台帳整備費 3,600万円
- ▶ 道路維持補修費 2,264万円
- ▶ 河川整備費 1,905万円
- ▶ 公営住宅維持管理費 321万円

農林水産業費



- ▶ 地域開発整備関連  
浄化センター周辺営農対策費 7,204万円
- ▶ 伊達西部土地改良事業 6,180万円
- ▶ 南半田、赤坂線林道事業 2,035万円
- ▶ 青果物価格補償事業 350万円
- ▶ 水田利用再編対策事業 330万円

商工費



- ▶ 中小企業振興預託金 600万円
- ▶ 商工会館建設助成 500万円
- ▶ 商工会運営助成 400万円

水道事業会計

科目	本年度額	前年度額	比較
収益的	収入 1億 3,645万円	1億 3,504万円	141万円
	支出 1億 1,305万円	1億 1,500万円	△ 195万円
資本的	収入 0	0	0
	支出 480万円	2,529万円	△ 2,049万円

資本的収入額が資本的支出に対して不足する額  
480万円は過年度分損益勘定留保資金で補てん

# 町選挙管理委員会に

## 表彰状

〓都道府県選挙管理委員会連合会から〓

昨年十二月に執行された、第三十七回衆議院議員総選挙で、国見町選挙管理委員会の努力が認められ、このほど、都道府県選挙管理委員会連合会から表彰されました。

三月二十七日午前、早川県選管東北地方事務局長が来庁し、

〓東海林町選管委員長の手には、表彰の伝達が行われました。

全国的に投票率が低下した総選挙でしたが、国見町では、有権者のみなさんの選挙に対する関心が高く、投票率が上位にランクされ、今回の受賞となったものです。



▲早川事務局長から表彰状を受ける東海林町選管委員長

# ふるさとの文化財 ①

## 県指定史跡

# 塚野目一号墳

## (八幡塚古墳)

菊池利雄

古墳の地方への普及には、大体大和朝廷の勢力伸長と歩調を合わせているといわれ、この時代の地方豪族は朝廷への服属のしるしと、地域支配の権威を象徴するために、大きな古墳がつくられるようになる。

四世紀の終りごろには、東北地方では最も古いとされる会津の大塚山古墳が出現し、五世紀になると、この町にも泉田の塚下古墳や、塚野目一号墳（以下八幡塚古墳とよぶ）がつくられ、これらの古墳は信達地方で最も古いものとされている。

八幡塚古墳はこの古墳群の主墳で、古墳時代中期の前方後円墳であり、昭和五十年に行われた発掘調査によれば、古墳の主軸は東西方向に約七〇m、後円部の直径が約五二m、高さ六m程の墳丘には葺石がふかれており、幅七・八m、深さ一・五mの周溝がめぐらされていた。

周溝の内側には円筒形土管と、頭の部分が朝顔の花のように、

塚野目にはかつて四十八の塚からなる、古墳群があったといわれ、古老高橋徳治氏の伝えによれば、その分布は八幡塚古墳のある普蔵川南岸から、阿武隈川の氾濫原を見おろす川岸段丘へかけての地域を主とし、一部は堀込や徳江堰北側の外畑など、条里制がしかれた水田地帯にもおよんでいた。また現在は集落の所在する普蔵川沿いの、北塚山伏塚には遺構は残されていないが、地名からみてかつて古墳の存在が推察されるなど、塚野目の全域にわたっていたことが知られる。

大きく開いた大形の朝顔形円筒墳が立て並べられていた。これらの遺物は、現在復元された町の公民館に展示がなされている。

石室などの内部の構造などは、未調査で明らかでないが、福島県の中通りの古墳としては、最大規模のものであり、古代の信夫国造の墳墓とする説もある。

昭和五十九年三月に福島県の史跡に指定がなされた。

参考文献 国見町史二三四巻



### 町職員の人事異動

町職員の人事異動が四月一日付で発令されました。

( )内は旧任

お世話になりました。



後藤クラヨさん

退職  
▽後藤クラヨ(小坂小調理員)

異動および昇格 ( )内は旧任  
▽勤労者体育センター所長(公民館長兼務) 渡辺等▽建設課下水道係長(同都市整備係長) 吉田貞男▽建設課都市整備係長(同管理係長) 佐久間靖明▽建設課管理係長(保健課保健衛生係長) 佐藤正吉▽保健課保健衛生係長(税務課庶務係) 同文書係 幸子▽総務課庶務係(同文書係) 国分次雄▽総務課庶務係(建設課建設係) 古川正▽総務課庶務係(建設課建設係) 鴨田栄一▽総務課文書係(同庶務係) 佐藤秀雄▽企画課企画係(総務課

庶務係) 谷津富夫▽税務課賦課係(産業課産業係) 松浦卓子▽税務課固定資産係(総務課庶務係) 蓬田英石▽住民課戸籍住民係(森江野小事務) 八巻美枝子

▽住民課福祉係(保健課保健衛生係) 引地真▽産業課産業係(住民課戸籍住民係) 吾妻正子▽産業課産業係(総務課庶務係) 松浦英夫▽建設課下水道係(税務課固定資産係) 吉田吉夫▽藤田小事務(大木戸小事務) 高子宏子▽森江野小事務(住民課福祉係) 安藤幸江▽大木戸小事務(藤田小事務) 佐竹朝子

### 教職員の人事異動

四月一日付 ( )は旧任

退職  
▽平田義教(県北中学校長)

転出

▽三島町立西方小(小坂小) 佐原健一▽梁川町立栗野小(藤田小) 吉田朋子▽梁川町立保原町立保原小(藤田小) 梅宮優子▽小野町立浮金中教頭(県北中) 飯沼保良▽梁川町立梁川中(県北中) 湯田健一▽郡山市立熱海中(県北中) 国分淑子▽伊達町

立伊達中副主査(県北中主事) 鈴木美美子

転入

▽県北中学校長(雲山町立雲山中校長) 幕田貞一▽小坂小、福島市立渡利小(吉原勇▽藤田小) 桑折町立平田醸芳小、遠藤芳子▽藤田小(富岡町立第一小) 吉岡映子▽藤田小(飯館村立白石小) 鈴木なおみ▽藤田小(新採用) 佐々木かおる▽県北中(保原町立保原中) 羽根田勉▽県北中(梁川町立梁川中) 菅野幸夫▽県北中(郡山市立第一中) 高橋千鶴子▽県北中(会津若松市立二箕中) 星一男▽県北中主事(下郷町立旭田小主事) 高野利男

### 宗像巡査が赴任

小坂・山崎(二部)を担当



宗像巡査

四月から、藤田駐在所に、森巡查の後任として、宗像敏夫巡查が赴任しました。

宗像巡査は、川内村出身で十三歳の独身の好青年、桑折警署署警備隊からの転任で、桑道

### 教育委員長に

### 佐藤利雄さん

四月二日から



吉田吉郎前教育委員長の健康上の理由による教育委員の辞任にともない、その後任として、佐藤利雄さん(六十四歳) 石母田字横町九ノが、四月二日付で教育委員に選任され、四月定例教育委員会で教育委員長に選任されました。

佐藤さんは、福島大学教育学部教授として長く勤められ、また福大附属小学校長、福島県青少年健全育成審議会委員、県北中P・T・A会長を経験し、現在は、福島大学名誉教授、福島女子短期大学教授として活躍され、教育に深く精通されています。

二段の猛者(もき)。地区のみなさん、よろしくお願ひします。

「三十八年間福島大学で教育にかかわる研究・教育にたずさわり、関連して、県内くまなく教育関係については見聞してまいりましたが、もともと教育行政を専門研究領域としておりませんでしたので、職責遂行に甚だ不安を感じております。今後は、関係諸機関と連絡を密にし、諸先輩のご指導と、町民の皆様のお心を心として、『教育と文化を高め、希望にみちた町づくり』に努力いたす所存でございますので、よろしくお願ひ申し上げます。」と抱負を語っています。

### 町勢要覧を発行

### 町勢要覧を発行

私たちの国見町は、今年の三月三十一日で、合併以来、早や三十周年を迎えました。町では、三十周年記念事業の一環として、町勢要覧を発行いたしました。カラー写真をふんだんに使用し、また、資料編も整備しましたので、ぜひご利用ください。

# わたしたちの“緑” 大切な“緑”

## 国土緑化運動



もし森林がなくなつたら——いたる所で山崩れや洪水が起き、空気は汚れ、そして酸素がなくなつてしまいます。森林が大地に根をおろし、枝いっばいに葉を広げ、呼吸している、つまり生きているからこそ、わたしたちも生きていられる、というのを忘れてはなりません。

これから夏に向かつて緑の一番美しい季節——。国土緑化運動が全国各地で始まります。この機会に、緑の効用、緑の重要性について考えてみましょう。

### 酸素を作る“緑”

植物が空気中の炭酸ガスを吸って酸素を吐き出すことはよく知られています。これは、植物の緑が光合成（太陽のエネルギーを使って、水と炭酸ガスから糖やたんぱくなどを作る）するとき、いっしょにできた酸素を吐き出す作用があるからです。

外に吐き出す作用があるから、

空気中の二酸化炭素を酸素に戻すことは、植物による光合成でしかできません。ですから、産業がさかんになり、ガソリン、石油、石炭などを燃やして酸素を消費することの多くなった今、酸素を作り出す“緑”の重要性はますます高くなったといえるでしょう。

### 天然のエア・クーラー

森林の効用で意外と知られていないのが、空気をきれいにすることです。

植物は葉の裏側にある気孔で呼吸します。そのとき、亜硫酸ガスなどの有害なガスもいっしょに吸い込み、葉の中に硫黄などの物質を蓄える性質があります。また、空気中のはりやばい煙は葉や幹に付着し、雨が降ると地面に流されてしまいます。特に、空気の汚れた都会や工場地帯では、天然のエア・クーラーとして、緑の果たす役割は非常に大きいと言えます。

### 騒音をやわらげる

「森閑とした」という表現のあるとおり、森林や木に覆われた公園の中は静寂そのものです。これは、重なり合うように生い茂った木の葉が、周りの騒音をさえぎっているからです。最近では、乗り物や工場から発生する騒音が公害の一つに数えられるようになり、森林のもつ防音の働きがたいへん注目されています。

このほか、わたしたちの環境を守る。森林の効用には次のようなものがあります。  
☆気象をやわらげる  
真夏の木かげは、強い日差しをさえぎり、たいへん涼しいものです。一方冬も、森林の中には外に比べて摂氏一度近く気温が高いことが分かっています。

このほか、森林には家屋や農作物を強い風や砂から守る「防風林」としての役割もあります。  
☆水源を守る  
川の流域に森林があると、洪水や干ばつが起こらないとい

います。

ます。これは、森林の中の木の葉、落ち葉、こけ類や、その下にある海綿のような土が、降った雨を蓄え一度に川に流れ込むのを調整してくれるからです。  
☆山崩れ、雪崩を防ぐ  
わが国は山地や傾斜面が多く、その上、雨量や積雪量も多いため、山崩れや雪崩といった災害が起こりやすくなっています。

傾斜地に根をおろした森林は、土や石、あるいは雪をしつかりとつかみ止めてくれる、いわば「天然のくさび」といえるでしょう。

## “緑”を増やそう！

### 「緑の羽根」募金運動



日本の国土は3分の2が森林——この数字だけを見ると、わが国は世界有数の森林国ということになります。しかし、国土が狭く人口も多いため、国民1人当たりの森林面積はわずか0.23ヘクタール。これは世界平均の5分の1にしかすぎません。

このように、森林の絶対面積の少ないわが国では、単に森林を維持保存するだけでなく、積極的に緑を増やしていく必要があります。

「緑の羽根」募金運動は、みなさんから寄せられたお金を、水源林、災害防止林などの維持造成のために、また、学校、都市、観光地などの環境緑化に役立てるものです。わたしたちの緑、大切な緑が街中にあふれるよう、「緑の羽根」募金運動にご協力をお願いします。



「若人の翼」

団員募集



一、募集人員

一般団員 六十名以内  
班長 十二名以内

二、応募資格

(一) 国籍・年齢  
日本国籍を有し、県内に居住している者で、昭和五十九年四月一日現在次に該当するもの。  
一般団員  
二十歳以上二十八歳未満  
班長  
二十八歳以上三十五歳未満

(二) 青少年団体の活動など

ア一般団員  
健全な青少年団体・グループなどに加入し、積極的に活動している者。

イ班長

青少年健全育成のために活躍している有志指導者または有給指導者。

三、募集方法

「若人の翼」申込書などの書類をそろえ、四月二十五日までにて町教育委員会へ提出してください。  
※なお、くわしくは町教育委員会(☎八五二二一一)へおたずねください。

国見町防霜対策

本部を設置

町では、果樹などの農作物を凍害から守るため、町と関係農業団体で町防霜対策本部(本部長、佐藤善右工門町長)を四月十二日設置しました。

霜が降りる恐れがある場合は、本部から広報車、有線放送で広報いたしますが、深夜にわたる場合が多く、ご迷惑かと思っておりますが、ご協力くださるようお願いいたします。

なお、降霜の時は重油などを燃焼するため、黒煙が町全体に広がる恐れがありますので、翌朝は洗たく物などにじゅうぶん注意してください。  
運霜の被害を最少限にするため、町民みなさんのご協力をお願いします。

防霜対策本部班編成

◎は班長

班	氏名	電話番号	班	氏名	電話番号
1	◎佐藤 功一	85-41344	5	◎渡谷 和幸	85-38416
	大小 裕	85-43444		小内 洋吉	85-31288
	高橋 正夫	85-37772		安田 博賢	85-33200
2	◎高橋 大地	85-25033	6	◎安内 三藏	85-49066
	高橋 豊	85-43377		松浦 新一	85-46855
	◎阿部 憲隆	85-33777		◎佐久間 正雄	85-44622
3	◎阿部 義隆	85-39054	7	◎佐久間 光雄	02242(8)2207
	阿部 作一	85-46566		◎長谷川 宗	85-42622
	阿部 隆一	76-47380			
4	◎阿部 正力	85-48040			
	阿部 藤山	85-43400			
	横山 貴	77-46355			

昭和五十九年度工業統計調査ポスターを公募

昭和五十九年度工業統計調査用のポスターを次のとおり募集いたします。

一 応募作品の内容

(一) 応募作品は、製造事業所が工業統計調査に対する理解を深め、その協力が得られる

願いたします。  
※期間は四月十二日から五月三十一日までです。

異国ブラジルを描く 菊地忠平(石母田出身)個展

会期 5月9日～13日  
会場 デパート山田六階ホール

※現在ブラジル在住で石母田出身の画家です。

藤田病院から

輸血協力のお礼

去る三月十八日早朝、出産のためにA型B型の血液が必要となり、有線放送でお願いしましたところ、早速十一名の方がかけつけてくれ、無事手術も成功いたしました。ご協力、誠にありがとうございました。ご協力、誠にありがとうございました。

未登録の銃砲の刀剣類は登録を受けてください

○未登録の銃砲・刀剣類を発見したときは、もよりの警察署に発見届を提出してください。  
○発見届がすむと、県教育委員会から届出者に刀剣登録審査会開催の通知がありますから、当日登録申請書を提出してください。  
○登録審査会にはア発見された銃砲・刀剣類イ発見届ウ印鑑エ登録手数料(県収入証紙)一件につき四百五十円を持参してください。  
※くわしくは、県教育庁文化課(二二一一二二)におたずねください。



# 戸籍の窓口

(3月受付分)

## 出生おめでとうございます

優一蔵	保博	貴正	規矩	成美	子(ゆ)	の(か)	名(き)	保(高)	護(村)	者(安)	志(大)	夫(久)	正(佐)	壽(藤)	登(義)	上(大)	第(間)	第(源)	第(宗)	第(山)	第(北)	第(八)	第(一)	第(田)
一蔵	博	正	矩	成	ゆ	か	き	高	村	安	大	久	佐	藤	義	大	間	源	宗	山	北	八	一	田
蔵	博	正	矩	成	ゆ	か	き	高	村	安	大	久	佐	藤	義	大	間	源	宗	山	北	八	一	田

## ご結婚おめでとうございます

熊	坂	哲	夫	子	善	一	枝	夫	子	美	子	美	子	明	子	氏	名	年	齢	部	落	町	表	戸	三	田	橋
龜	岡	岐	子	善	枝	美	美	子	美	子	明	子	明	子	子	熊	坂	61	51	本	東南	表	戸	三	田	橋	橋
蓬	谷	良	善	枝	美	美	子	美	子	明	子	明	子	子	氏	名	年	齢	部	落	町	表	戸	三	田	橋	橋

## おくやみ申し上げます

高	橋	政	利	ウ	富	ノ	美	シ	シ	ツ	氏	名	年	齢	部	落	町	表	戸	三	田	橋
佐	藤	利	ウ	富	ノ	美	シ	シ	シ	ツ	高	橋	61	51	本	東南	表	戸	三	田	橋	橋
佐	藤	利	ウ	富	ノ	美	シ	シ	シ	ツ	高	橋	61	51	本	東南	表	戸	三	田	橋	橋

- ◆ 善意の窓
- 小坂小学校へ
- ◆ 日本天皇道奉賛会桑折道場小坂方部一同から
- ビデオ野外撮影用カメララッパ
- テリーおよびカメラ充電機、
- (四万五千円相当)
- ◆ アフリカ干ばつ救援金へ
- ◆ 山田円吉さん(錦町)から
- 千九百四十八円
- ◆ 佐々木文子さん(宮町北)から
- 三千元
- ◆ 匿名希望
- 千八百六十七円
- ◆ 役場職員一同から
- 一万八千六百六十円



▲宮町北子ども会のみなさんから町長に

◆ 宮町北子ども会から  
一万二千二百六十円  
(廃品回収の益金)

桑折警察署管内の交通事故死亡事故0継続日数五百日が、三月五日達成されました。

交通安全協会桑折支部では、五百日達成を記念して、三月六日正午、花火を打ちあげました。

当町では、すでに五百日を達成し、八月二十三日の交通事故死亡事故0継続日数千日達成を目標にしています。

歩行者の方も、ドライバーの方も、交通事故にあわぬよう、おこさぬよう、交通事故の防止に十分心がけましょう。



交通事故0  
五百日を達成!!

# 人口と世帯

4月1日現在(前月比)3月中のうごき

人	男	5,872人	(△30)	転	入	44人
人	女	6,204人	(△24)	転	出	100人
口	計	12,076人	(△54)	出	生	9人
世帯数	2,863戸	(△4)	死	亡	7人	

# ～ 国見町民憲章 ～

1. あたたく、たすけあう町をつくりましょう。
1. 楽しく働いて、豊かな町をつくりましょう。
1. すこやかで、よろこびに生きる町をつくりましょう。
1. 力をあわせて、すがすがしい町をつくりましょう。
1. 教育と文化を高め、希望にみちた町をつくりましょう。



4月 卯月(うづき)

5月 五月(さつき)

16日(月) 満月

1日(火) メーデー

18日(水) 発明の日

3日(木) 憲法記念日

20日(金) 通信記念日

5日(土) 子どもの日・立夏

郵便週間

8日(火) 世界赤十字デー

29日(日) 天皇誕生日

10日(木) 愛鳥週間

30日(月) 振替休日

13日(日) 母の日

# 心配ごと相談日

場所：役場二階相談室(東側入口からお入り下さい)  
時間：9時～12時  
こまったことや、相談ごとがありましたら、お気軽にご相談下さい。秘密は絶対に守ります。  
[相談員]

- 4月25日(水) 高橋藤右工門・橋ヤヨイ
- 5月4日(金) 高橋 隆雄・安藤 トヨ
- 5月15日(火) 吉川 弥吉・黒田 ヒロ



### 昭和五十九年度

## 学級生を募集!!

国見町公民館  
☎85-2676  
(有) 4156

公民館では、昭和五十九年度  
次の学級生を募集しております。  
町民一人一人が、社会のなか  
でそれぞれの役割を果たしながら、  
各年代に応じ学習テーマを  
見つける。

そこから「学びの出発」が、  
始まります。人間性の豊かさを  
求めて自発的に今から始めまし  
よう。情報、知識の氾濫するな  
かで、確かな知識、教養を身に  
つける機会をぜひ公民館で……

### 青年学級

- ◇定員 四十名
- ◇期間 四月～三月
- ◇回数 毎週木曜日
- ◇時間 PM7:30～9:30
- ◇対象 町内在住又は勤務  
の二十四才迄の青  
年男女(学生も可)
- ◇活動内容 講義・話し合い・



スポーツ・レクリエーシ  
ョン・野外活動(キャン  
プ・オリエンテーリング  
など)・フリータイム

### 乳幼児学級

乳幼児時期の教育がその人の  
一生を左右すると言われていま

す。こどものすこやかな成長と  
人間形成を目ざして……

- ◇定員 三〇名
- ◇期間 五月～十二月
- ◇回数 十回 水曜日
- ◇時間 13:30～15:30
- ◇対象 〇～三歳児をお育  
てのお母さん、お  
ばあさん等

#### ◇学習内容

乳幼児の心理的発達とつけ  
家庭における両親、祖父母と  
のかかわり。  
健康と疾病についての管理と  
対応の仕方など

#### ◇学習方法

講義・育児相談  
話し合い・研修  
実習・ゲーム

#### ◇期間中託児所開設いたしま すのでお子さんつれて……



### 中央婦人学級

婦人の役割を考え、婦人教養  
の向上と明るく豊かな家庭づ  
くりをめざして……

- ◇定員 四〇名
- ◇期間 五月～二月
- ◇回数 十二回 水曜日
- ◇時間 9:30～11:30
- ◇対象 町内在住する婦人

### 成人学級

社会に柔軟に対応できる知識  
や教養を習得し、明るく豊か  
な町づくりへ貢献しよう。

- ◇定員 四十名
- ◇期間 五月～二月
- ◇回数 十二回
- ◇時間 13:30～15:30
- ◇対象 町内在住廿年男女
- ◇学習内容 一般教養、地方  
自治・健康管理  
研修旅行など

切 各学級とも四月二十八  
日(土)  
申込先 各戸配布のチラシをこ  
覧の上、申込書により  
直接公民館へ申し込ん  
で下さい。(電話申込  
みも可) ☎85-2676  
(有) 四一五六

### ジャズダンスへの おさそい

やつと暖かくなって、私たち  
国見町ジャズダンス愛好会も、  
はりきっています。

ジャズダンスは、特別変わった  
ダンスではなく、体操をやった  
ことのある人なら、体操でもでき、  
姿勢も良くなり、心身共にリフ  
レッシュされます。少しでも  
興味のある方、ぜひ一度、お出  
かけ下さい。

練習日 毎週火曜日(月四回)  
時間 午後七時半～九時  
会費 月額 二五〇〇円  
連絡先 谷津陽子 八五二二〇〇  
佐藤公子 八五一〇四六

### 柔道スポーツ少年団 団員募集

対象 小学生及び中学生  
男女は問いません。  
会費 年間三千元(運営費  
傷害保険料含む)

練習日 毎週火曜日  
時間 午後六時～八時  
場所 町民体育館  
活動内容 花見・キャンプ  
いも煮会など  
申し込み 練習日に受け付け。

# おしらせ

## ソフトボール

### 三種審判講習会 変更について

○期日が四月二十二日に変更になりました。

○場所 国見町公民館

○定員 五十名(定員になり次第締切ります)

○申込 四月十六日(月)まで

○時間 午前八時〜午後四時

○その他くわしいことは公民館へ

## 趣味の

### 合同習作展を開催

第八回合同(カメラ・書道・日本画・油絵・はり絵)習作展を開催します。

恒例の町農業者開催中です。

皆様おそろいでおでかけ下さい。

○日時 五月五日〜六日

九時〜午後五時迄

○会場 国見町民体育館

○主催 国見町趣味の合同習作展実行委員会

○後援 国見町教育委員会

### 国見町勤労者体育センター 管理人決まる

四月一日から町民のみならず利用していただいている体育センターの管理は藤山第四部落の吉田平次郎さんになりましたのでよろしく願います。



吉田平次郎さん

### 公民館日直を 民間委託に

いままで町職員があたつていました土・日曜及び祝祭日の日直を五月から、大町南の村山友司、阿部美奈子両さんにお願うることになりました。



村山友司さん



阿部美奈子さん

### 謡曲教室に 参加して

#### 佐久間直次

#### 公民館で、謡曲教室を開く

公民館で、謡曲教室を開くというチラシを見て喜んで。私は、かつて講師の坂東先生の謡を、お祝の席で拝聴したことがあり、このような立派な謡を出来る人が一人でも多くわが町内に居て欲しいと常日頃思っていたからです。

いわば、伝統あるわが国独特の古典芸能と言いましようか、昔からの調子をくずさず正しく子孫に伝えるべきと大きな夢をもつていました。

そこで近くの青壮年数名に呼びかけ参加を得て、八日間コースをひとまず終了したが、なまやさしいものではない。でも謡の素晴らしさやわらいを味う程度で中断した形、これではなさない。

来年と言わず今年の夏場も数回、自主的に勉強会をもてたいいな、何年かかってもいい、立派な男の正装正座、白扇の前に朗々と銀声をふりしぼつてお祝の席をもちあげる姿こそ、豊かな文化のかけり高い町といえるのではないだろうか。

### ■表紙

#### カメラ歳時記

#### 「ボランテア」

## 公民館に花を生けて十四年



今月号から、表紙に、ボランテアの方々を取り上げました。最初に登場願つた方は、龍生派・生け花の先生で、藤田字沢田二の市川公子さん(四十七歳)です。

市川さんは、公民館開設当時の昭和四十五年から、この十四年間、四季おりおりの花を持参しては生けていかれます。

「いつも公民館を利用していただいているので、ほんのお礼のつもりで始めました」と話す市川さん。  
渡辺公民館長は、「公民館の玄関に、月二回から三回ぐらい四季おりおりの花を生けていた、公民館を利用する方に、心の安らぎを与えていただき、たいへんありがたく、感謝しています」と語ってくれました。  
市川さんは、生け花の先生のかたわら、公民館で、茶道を習い、そのときに花を取り替えていかれます。「ボランテアなんていわれると、ちょっと恥ずかしい気がします。別に紹介してもらいたくは始めたわけでもないし……」と、ひかえめに話す市川さんです。



### 編集日記

○四月六日、町内の各小学校で入学式が行われました。お父さんやお母さんに手を引かれ、期待と不安に胸をおどらせ、校門をくぐる姿に、私も二十数年前の入学当事を思い出しました。

○県内の公立小中学校で、この日入学式が行われましたが、入学児童・生徒は、年々減少傾向にあるそうです。

○四月六日からは、春の全国交通安全運動が始まりました。特にこの時期は、天候も良くなり、入学したての子どもたちも、はしゃぐようになりそうですので、子どもがいる家庭では、交通安全に十分気をつけるようにしたいものです。

○ところで、遅れていた校前線もようやく北上を始め、福島では、例年より一週間遅れの四月十八日ごろに開花とのこと。町内には、桜の名所が数多くあります。その一つである観月台公園では、春の日ざしに誘われてこのところ釣りをする人が増えています。

○公園は、町民の憩いの場所として親しまれていますが、犬のフンが目につき、気分を害します。飼主の方は、必ずあと始末をしてほしいものです。